

## A-① 政策形成能力の強化

2日間

対象

中堅職員

～地域問題解決のための実践的政策形成力の強化（立案と説明責任）～

### 狙い

政策形成の考え方・進め方・手法を習得し、地域問題を解決する効果的、実現性の高い政策形成能力の開発・強化を図る。

### 目標とする成果

- 地域問題の探索、発見から課題設定までのプロセスについて理解する。
- 成果目標（アウトカム）と活動結果（アウトプット）の差異と関係を理解し、成果志向の政策形成の考え方、進め方を習得する。
- 地域問題解決策を立案し、その発表と質疑応答を通じて、実践的な政策形成能力を習得する。

### 進め方の特徴

- 事前課題を実施する。（個人が地域の問題設定と事業案を策定）
- 講義と個人演習、グループ演習で基本的理解の促進を図る。
- 事業戦略、マーケティング手法を政策形成に活かす。
- グループ演習と発表により、情報の整理、表現、共有のコミュニケーション能力の強化を図る。

### 研修概要

9：00～17：00

1 日 目	①地域課題解決と政策形成 ②政策形成とは ③政策形成に必要な能力 ④事業戦略、マーケティング手法	2 日 目	⑤政策形成演習 ⑥政策提言のプレゼンテーション
-------------	---	-------------	----------------------------

## A-② 政策形成に活かす戦略・ マーケティング能力強化

2日間

対象

事業企画部管理・監督職  
管理・監督職

～ケース・メソッドの活用～

### 狙い

公的問題解決の手段としての政策立案、執行、評価を効果的・効率的に行うために、従来、民間企業で活用されている戦略、マーケティング手法を自部門での応用するための能力を強化する。

### 目標とする成果

- ロジカルシンキングの戦略への活用方法・ツールを習得する。
- 戦略・マーケティングなどの基礎理論を理解し、担当事業の開発や見直しへ活用する。

### 進め方の特徴

- 戦略・マーケティングの活用を活かすロジカルシンキングを学ぶ。
- 3つのケーススタディから実践的な戦略、マーケティング手法の活用を習得する。
- 講義、個人演習、グループ演習、全体討議を組み合わせることで、個人別の思考、メンバーとの協働という戦略実践に必要なスキルの強化を図る。

### 研修概要

9：00～17：00

1 日 目	①戦略思考に活用するロジカルシンキング ②経営戦略の基礎知識 ③ケーススタディ1(事業戦略)	2 日 目	④ケーススタディ2(マーケティング) ⑤自部門の事業戦略策定
-------------	--	-------------	-----------------------------------

## A-③ 成果実現のPDCA マネジメント能力向上

2日間

対象

管理監督者  
中堅職員

～事業展開に活かすプロジェクトマネジメント能力開発～

### 狙い

事業展開における成果実現に向けたプロジェクトマネジメントの考え方・進め方の理解を図るとともに、プロジェクトマネジメント手法とツールの習得を通じて、プロジェクトプロセスを効果的・効率的にマネジメントする実践能力の開発を図る。

### 目標とする成果

- プロジェクトプロセスにおけるマネジメントの考え方・進め方を習得する。
- プロジェクトマネジメントの基本的手法・ツールを習得する。
- 受講生個々人のプロジェクト計画を立案する。

### 進め方の特徴

- 講義による基本的考え方の理解の促進を図る。
- 個人演習を通じて、受講者の担当事業をベースに実践的なプロジェクトマネジメントの理解を図る。
- グループ演習を通じて、プロジェクトマネジメントに必要な情報共有・合意形成、説明責任のコミュニケーション能力の強化を図る。

### 研修概要

9:00～17:00

<b>1 日目</b>	①プロジェクトとは ②プロジェクトマネジメントの考え方、進め方 ③プロジェクトスケジュールマネジメント ④重要なマネジメント対象	<b>2 日目</b>	⑤プロジェクト戦略のポイント ⑥実践演習：プロジェクト計画作成
-----------------	---	-----------------	------------------------------------

## A-④ 行政評価

2日間

対象

中堅職員  
行政評価導入担当スタッフ

～行政評価の基礎スキルの習得～

### 狙い

行政評価導入の背景の理解と関連知識・手法についての理解を図るとともに先行自治体の取り組みを学び、自部門に評価の活用を図る。

### 目標とする成果

- 行政評価の必要性の認識と行政評価の基本知識を習得する。
- 成果（アウトカム）、活動結果（アウトプット）、事業内容・活用資源（インプット）の構造とその関係を理解する。
- 担当事業の評価を試行し、評価をする上での課題を抽出する。

### 進め方の特徴

- 講義と個人演習で基本的理解の促進を図る。
- 先行自治体のケースで具体的活用の理解の促進を図る。
- グループ演習・発表により、コミュニケーション能力の強化を図る。

### 研修概要

9:00～17:00

<b>1 日目</b>	①行政を取り巻く環境変化 ②行政評価の考え方・手法 ③先行自治体の事例研究	<b>2 日目</b>	④行政評価に必要なスキル ⑤事業評価 ⑥行政評価導入・運用上の課題
-----------------	---	-----------------	---